

## {4月} 令和7年度 第1回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	三箇山 優花

開催日時	令和7年4月14日(月) 16:00~18:00
開催場所	杉森中 北校舎2階 会議室
出席者 (委員)	岡田会長、斎藤校長、村上職務代理 伊藤委員(新)、大西委員(新)、小川委員、佐久間委員、西野委員、 福島委員、三箇山委員、 欠席；朝枝委員、狩野委員 ※五十音順
出席者 (学校) (教育委員会)	白土主任教諭、菊池教諭(新任) 中曾根課長、山田係長、伊藤職員
傍聴者人数	

### 会議内容(次第順)

#### 1. 会長挨拶

- ・新年度がスタートしました。1年生も初々しくていいですね。地域の応援なくして学校の発展はなしとの精神で、知恵と体力を使いながらCSとしてできるだけのことをやっていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いします。

#### 2. 配布資料確認

#### 3. 令和7年度 転入・新任教師紹介

：斎藤校長(技術科)、白土先生(主任、数学)、菊池先生(新任、理科)

- ・斎藤校長：杉並区立向陽中学校より転任してきました。学校内の困難な課題等に対して、CS、地域、学校支援本部などからのサポートを頂きながら、生徒のために働きかけてきました。教員と保護者だけでは厳しいことも多いので、頼り先を増やして一緒になって生徒の育成を進めていけたらと考えています。中学校のみならず、小学校を巻き込んで、学校を中心に一緒に活動を進めていく中で同じ方向を向けるようにと考えています。どうぞよろしくお願いします。

#### 4. 令和7年度 新規CS委員紹介

：伊藤委員(PTA会長)、大西委員(学校支援本部長)

## 5. 協議事項

### ■ 杉森中学校の運営について（斎藤校長より）※別途資料参照

→ 学校経営計画は、改めて次回の CS 委員会で発表します。要点を共有します。

<教育目標>

- 人との交流（生徒同士、生徒と教員、生徒と先輩、教員同士）
- 豊かな体験：体験したことがないと豊かにはなりません。失敗がないと誰かのせいにするようになります。
- ・お互い意見を言い合わないと、学校運営はうまくいかないと考えています。
- ・プレゼンテーションは、各学年、各教科で最低 1 回以上実施することとします。年間計画に基づいて進められるようにします。
- ・生徒が「（大人たちに）やってもらって当たり前」だと思っはいけない、支え合いの関係づくりが大切だと考えています。
- ・「協働的な学び」と「個別最適な学び」
- ・いじめ防止のために、これまでの経験を活かしていきたい（経験したことは繰り返したくない）と、教職員間でも話しています。
- ・SNS の使い方、意識しないで犯罪に巻き込まれてしまう危険を防げるよう、指導を進めていきます。
- ・ICT(タブレット)の利活用、調べ学習の使用時間制限（23 時～5 時は使用不可に）
- ・一方的に伝えると、理解しないまま「はい（返事）」で終わってしまい、そこで学びが止まってしまう。そうはしたくないと考えています。
- ・プレゼンテーション能力の向上、英語でのコミュニケーション能力の育成に力を入れます。
- ・特別支援教育と教育相談（学びの教室・居場所づくり）、不登校支援に力を入れてやっていきたいと考えています。
- ・学校以外での社会性の育成（社会性の育成は、教員だけではできません。校外学習や職場体験機会の活用、「やらせる」ではなく「自分たちでやりたい」）を目指していきたいと考えています。
- ・学校運営協議会と学校支援本部との教育資源の活用と充実をはかりたいです。合同会議の機会などがあるといいのではないかと考えています。
- ・同様に、PTA、CS、学校支援本部など、それぞれの活動ではなく、共同・合同でやっていけたらと考えています。小学生（保護者）をはじめ、地域の方、卒業生、学生なども参加できるように機会を開いていきたい、縦のつながり・横のつながりを充実させていきたいと考えています。

<意見、感想>

- ・この短期間で杉森中学校のこと、生徒のことなどをとてもよく捉えてくださっており、知ろうとしてくださっている安心感を抱きます。
- ・中学生まではボランティア活動を積極的に行なうが、高校生になると機会が減ってしまうのが現状です。大学生が地域の人と一緒にボランティア運営をするケースも増えています。「高校生が抜けない」ということは大事だと考えます。
- ・ロールモデルになるので、チューターの立場などで学生がずっとつながっていくといいと考えます。
- ・「苦労したから地固まる」という経験は財産です。大人がやってしまいすぎないようにと思っています。
- ・信頼できる関係があるからこそ、本気で叱れると考えています。

■ 部活の一部外部委託化について（杉並区教育委員会より）※別途資料参照

- ・部活動の継続が危機的状況にあります。運営資金の確保にどの自治体も苦戦中です。生徒のスポーツや文化芸術を通じた成長機会の推進のために、地域移行・地域連携をどうしていくかを進めています。
  - 指導体制：技術指導、大会の引率、学校への活動状況報告など
  - 各種目を担当する教員は、顧問ではない（各校1名「サポート教員」を選任例）高円寺学園では、教員が顧問を担わない体制で2年前から運用中。デメリットを生徒に聞いても、ネガティブな意見は特に出ていない。「他校へ行ってチャレンジするのはうれしい」という意見や、「そこまで（他校に移動してまで、部活動を）やりたくない」などの意見もあがっている。「他校に移動してでも部活動をやりたい」という生徒への機会支援を目指す。
- ・質問：対象は、運動系の部活動のみの方針でしょうか？（CS）
  - 文科系は当面の間、これまでどおりです。（教育委員会）
- ・文科系顧問との教員間の余裕の差が出るのが予測できます。（CS）
- ・富士見ヶ丘（モデル校）の学校支援本部主導による「ゆるやかな部活動（ゆる部活）」や放課後活動、クラフト活動など
  - 支援員への補助の必要、保険加入の必要など、いずれにせよ公費（予算）が必要になってくるだろうと考えます。会費制による運営の検討など、まずは土台づくりを進めています。
- ・学校ごとの公費支給の不公平がなきよう、しっかりと検討してほしいです。（CS）
  - どの中学校の生徒にも平等になるように設計しています。（教育委員会）
  - 民間委託の部活は、生徒の参加費は不要です。
- ・既存顧問に指導を希望する生徒/部活も、実際にはあるかと思いますが？（CS）
  - 競技ごとに役割分担していけるよう進めていく予定です。（教育委員会）

→部活の顧問を持ちたい教員は、地域クラブに兼業で指導（兼業可能）をする方法もあります。（教育委員会）

- ・中学3年生の、引退後の所属/参加についてはどう考えますか？（CS）
  - ・スポーツ推薦の生徒は、引退後も練習に参加できる環境の確保は必要かと考えます。生徒にとっての部活（の仲間）は財産になります。融通が利くようにしておいた方がいいと考えます。ぜひ前向きな検討をお願いしたいです。（CS）
  - ・杉森中を含めた3校による合同部活動の実施で、放課後生徒が学校間を移動することになりますが、環七、青梅街道という交通量の多い通りを横断することになります。ほとんどが自転車を利用することになると思いますが、学校間を移動する生徒への安全対策が極めて重要です。危惧の声があることを改めて伝えさせていただきます。（CS）
  - ・委託先の法人は渋谷区での実績があるようですが、複数校合同による課題（学校行事の違いがある中での調整の難しさ、人間関係など）にどのくらい対応できるかはわからないため、ぜひ「教育委員会として関与していただきたい」という要望を出させてください。（CS）
- まずは、今回のやり方をたたき台にして、改善改良を忌憚なく進めていきたいと考えています。教育委員会が正解をもっているわけではありません。（教育委員会）

#### ■ 学校支援本部より

- ・年間の活動計画は、昨年度同様の予定です。CS委員の皆さんも、ぜひご協力よろしくをお願いします。

#### ■ その他

- ・R7年度CSの開催予定（案）について ※別紙参照
- ・「CSたより」の制作、発行について
  - 斎藤校長、及び新規CS委員のご挨拶として、新たに作成する考えです（予算は10万円以内、2回まで発行可能）。
  - 前回担当：岡田会長・狩野委員、今回担当：狩野委員、小川委員・三箇山委員
  - ※詳細は、次回CS委員の議題とします（夏以降発行予定）

#### 次回の会議日程

日時 【第2回】令和7年5月9日（金）16時から

- ・新年度の学校運営の基本方針、組織体制等、生徒会役員との対話等

会場 杉森中学校 北校舎2階 会議室